

株主通信

2014年3月期第3四半期決算報告

90号
SPRING 2014

SCREEN NOW

Fit your needs, Fit your future

期待に応えて、未来を形に・・・

SCREEN

株主の皆さまへ



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年3月期第3四半期累計期間(2013年4月1日～12月31日)における事業環境は、半導体業界においては、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大により、メモリーやファンドリーの投資が増加しました。液晶パネル業界においては、中小型パネルの需要増加や中国での設備投資再開を背景に事業環境に改善が見られました。印刷関連機器においては、印刷のデジタル化が進む中、POD装置の需要が増加傾向にあります。

このような状況の中、当社グループの売上高は1,632億円と前年同期に比べ188億円(13.1%)増加しました。利益面では、売上の増加に加え、変動費や固定費の削減に努めたことなどにより、営業利益は45億円(前年同期は60億円の営業損失)、経常利益は40億円(前年同期は66億円の経常損失)、四半期純利益は22億円(前年同期は122億円の四半期純損失)となりました。

2014年3月期の連結業績予想に関しましては、半導体機器事業における好調な受注状況から、前回予想(2013年11月5日発表)から上方修正し、売上高2,310億円、営業利益90億円、経常利益82億円、当期純利益61億円となりました。配当につきましては、前回予想どおり1株当たり3円(期末配当金)を予定しております。

当社グループは、今後も変動費の削減など収益構造の改革に取り組むとともに、新規分野の早期事業化や財務体質の強化を進め、持続的成長に向けた努力を続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 最高執行責任者(COO)
橋本 正博

当社が初めてラベル向けに開発したラベル用UVインクジェット印刷機「Truepress Jet (トゥーループレスジェット)L350UV」をご紹介します。



「Truepress Jet L350UV」

毎日のように生み出されるコンビニやドラッグストアの新商品。商品の顔であるラベルの印刷でも、商品サイクルに対応したスピードが求められるとともに、多様化が進み、高品質な仕上りや新たな機能性の実現、高付加価値化への要求がますます高まっています。このようなニーズに幅広く対応できるPOD製品への需要が拡大しています。

当社が2013年10月に世界同時発売したラベル用UVインクジェット印刷機「Truepress Jet L350UV」は、ラベル印刷において、「必要ときに、必要な数だけを、求められる品質と機能で印刷」を可能にしました。デジタル印刷のため、従来のアナログ印刷で求められる複雑な工程や熟練技能も不要です。

デジタル印刷ならではの柔軟性で、ラベル印刷の「短納期・多品種・小ロット」ニーズに「高生産性」「高画質」「スキルレス」で応えます。

● Truepress Jet L350UVの強み

- **高生産性**：当社が培ってきたロール紙高速搬送技術、インクジェット技術、UVインクコントロール技術をラベル向けに最適化し、ラベル用デジタル印刷機としては世界最高レベルの50m/分の印刷スピードを実現しました。
- **高画質**：当社独自のプリントヘッド制御技術と新開発の「Truepress ink (トゥーループレスインク)」により、高画質を実現。紫外線が当たると硬化するUVインクのため、紙だけでなくフィルムなどさまざまなラベル素材に印刷ができます。

- **高付加価値ラベルに対応**：版が無いというデジタル印刷の特長を生かして、ラベル1枚ごとに異なる抽選番号などを印刷したり、2.4メートルもの長尺ラベルも印刷できます。

● 今後の展開 —成長する世界のラベル印刷市場—

ラベルに光沢を与えるためのニス塗りや、個々のラベルの形に型抜きをするなどの後加工機を発売予定です。また、薬品など安全性が求められるラベル用に、偽造防止や流通管理のための特殊なコードを精細なドット(点)で印刷し^{しんがん}真贋判定を行うセキュリティ印刷にも対応し、機能強化を図ります。

世界のラベル印刷市場は、商品パッケージの多様化などを背景に、2012年の約3兆1,500億円から、2016年には4兆円近くに拡大すると予測されています*。

ますます成長が見込まれるラベル印刷市場に対し、当社は「Truepress Jet L350UV」をPODの主力製品のひとつと位置付け、ワールドワイドで積極的に販売していきます。また、装置だけでなく、消耗品である「Truepress ink」の販売によって、安定収益を上げることも図ってまいります。

*生産高ベース。出典：英国・スミサーズパイラ社 (Sourced to Smithers Pira, the worldwide authority on the packaging, paper and print industry supply chains)、1ドル=100円換算。



POPラベル



生産者ラベル



薬品ラベル

セグメント別業績(第3四半期累計:2013年4月1日~12月31日)

半導体機器事業

売上高 **1,124 億円(前年同期比 8.9%増)**
営業利益 **47 億円(前年同期は39 億円の営業損失)**

- ・メモリーや大手ファンドリーの投資拡大により、コーターデベロッパの売上が増加しました。
- ・国内向けやアジア向けを中心に売上が増加しました。
- ・営業利益は、売上の増加に加え、変動費や固定費の削減に努めたことなどにより、大幅に改善しました。
- ・ファンドリー、メモリーの投資が堅調に推移し、受注が第2四半期に比べ増加しました。

今後の見通しと取り組み

- ・第4四半期はファンドリーの投資がけん引し、第3四半期に比べ売上増加を予想しています。
- ・受注についても、メモリー投資の増加により、堅調な推移を見込んでいます。
- ・車載用半導体の伸長に合わせ、パワー半導体などのグリーンデバイスターゲットとした製品にも注力します。

FPD 機器事業

売上高 **143 億円(前年同期比 59.1%増)**
営業損失 **△2 億円(前年同期は8 億円の営業損失)**

- ・国内やアジア向けに高精細液晶パネル向け中小型製造装置の売上が増加したことに加え、中国向けの大型パネル用製造装置の売上が増加したことから、売上は大幅に増加しました。これにより、営業損失は縮小しました。

今後の見通しと取り組み

- ・第4四半期は、第3四半期に比べ、売上回復により収益改善を予想しています。
- ・中国で進行中の複数の大型商談の獲得により、第4四半期は大幅な受注増を見込んでいます。

メディアアンドプレジジョンテクノロジー事業

売上高 **358 億円(前年同期比 13.6%増)**
営業利益 **15 億円(前年同期は1千4百万円の営業利益)**

- ・印刷関連機器については、為替が円安で推移する中、CTP装置の売上は減少しましたが、POD装置の売上が増加しました。インクなど消耗品売上も順調に推移しています。
- ・プリント基板関連機器については、回路形成に必要な直接描画装置の売上が増加しました。

今後の見通しと取り組み

- ・印刷関連機器では、好調なPOD装置においてラベル印刷機の販売体制を強化する一方、CTP装置に関しては新興国向けラインアップを充実して中国でのマーケットシェア拡大を狙うとともに、先進国での更新需要を着実に獲得します。
- ・プリント基板関連機器では、直接描画装置の販売に引き続き注力します。

用語解説

UVインクジェット印刷機: 紫外線(UV)が当たると硬化するUVインクの微細な粒子を、印刷する素材に吐出し、紫外線照射によりインクを硬化、定着させる印刷方式。

POD: Print on Demandの略。必要ときに必要な部数を印刷すること。

ロジック: 半導体の一種で、演算や命令などを行う。

メモリー: 半導体の一種で、データを記憶する。

ファンドリー: 半導体の受託生産を行う企業。

コーターデベロッパ: 半導体製造工程のうち、フォトレジスト(感光剤)の塗布と現像を行う装置。塗布現像装置ともいう。

パワー半導体: 電源(電力)の制御や供給を行う半導体。ハイブリッド自動車やエアコンのインバーターなど、幅広く用いられる。

CTP: Computer to Plateの略。印刷するデータをコンピューターから印刷用プレートに出力し、印刷版を作成する方法。

直接描画装置: 回路パターンを高速・高精細に直接描画(露光)する装置。従来の露光方式に比べ、納期の短縮やコストの大幅な削減が可能。

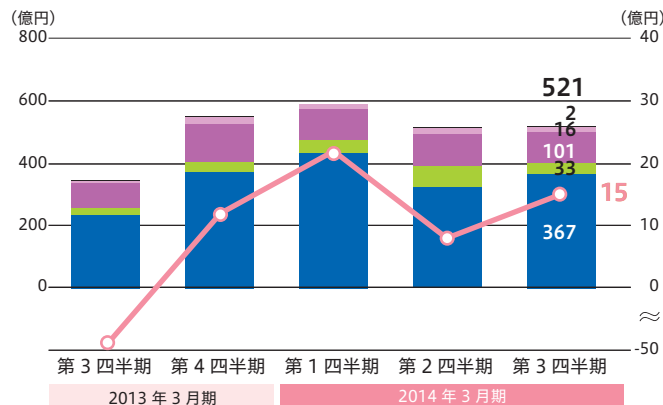
➔ 2014年3月期連結経営成績

(単位: 億円未満切捨)

	第3四半期 2013年10月1日から 2013年12月31日まで	前年同期	第3四半期累計 2013年4月1日から 2013年12月31日まで	前年同期
売上高	521	348	1,632	1,443
営業損益	15	△48	45	△60
経常損益	14	△52	40	△66
四半期純損益	6	△53	22	△122

➔ 売上高・営業損益

■ 半導体機器事業 ■ FPD機器事業 ■ メディアアンドプレジジョンテクノロジー事業
 (■ 印刷関連機器 ■ プリント基板関連機器) ■ その他 ○ 営業損益[右目盛]



➔ 2014年3月期連結業績予想

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	2,310	90	82	61

2014年3月期の期末配当につきましては、1株当たり3円を予定しております。

(注) 財務数値につきましては、金額は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表記しております。

収益認識基準の変更について

2014年3月期より、半導体機器事業およびFPD機器事業の装置販売について、従来の出荷基準から据付完了基準に、収益を認識する方法を変更しております。この変更に伴い、2013年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

株主さまからよくいただく質問をご紹介します。

Q. 単元未満株式(1株~999株)を整理する方法はありますか？

A. 当社では、単元未満株式をご所有の株主さまが、ご所有の単元未満株式を単元株式(1,000株)にまとめるため、単元株式数に不足する数の株式を買い増すことを当社に対して請求できる「単元未満株式買取請求制度」を実施しております。

また、証券市場で売却できない単元未満株式の売却を希望される場合に、当社に対して買取請求を行うことができる「単元未満株式買取請求制度」もあり、「買取請求制度」と「買取請求制度」のいずれも選択してご利用いただけます。

いずれのお手続きにつきましても、次のとおりご連絡ください。

■ 証券会社の口座に単元未満株式をお持ちの株主さま
株主さまの口座のある証券会社へご連絡ください。

■ 上記以外の株主さま

三井住友信託銀行株式会社へご連絡ください。

ご連絡先: 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031

(土・日・祝祭日・年末年始を除く9:00~17:00)

株価および出来高の推移



大日本スクリーン製造株式会社

〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1-1 電話075(414)7131

www.screen.co.jp 証券コード7735

SCREEN NOW Vol.90 発行日: 2014年3月14日(発行は3月、6月、9月、12月) 発行: 広報・IR室

「SCREEN NOW」(株主通信)は、当社のフォント「ヒラギノ書体」を使用しております。



UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
by HIRAGINO フォントを採用しております。